令和８年度「日本ホッケー協会賞」受賞者のご紹介

※年齢は 2026 年 11 月 1 日現在

勇崎 恒也　氏（85 歳）　オリンピアン・元男子日本代表監督

勇崎恒也氏は、1960 年ローマオリンピック、1964 年東京オリンピック、1968 年メキシコオリンピックの 3 大会に日本代表として出場されたほか、アジア競技大会など数多くの国際大会で日本代表として活躍されました。また、国民体育大会においても優勝を経験されるなど、選手として輝かしい実績を収められました。

現役引退後は、1982 年ニューデリーアジア競技大会、1990 年北京アジア競技大会において男子日本代表監督を務められたほか、1986 年ソウルアジア競技大会ではコーチとして日本代表の強化・育成に尽力されました。

また、北海道ホッケー協会では 1968 年から理事を務められ、理事長、副会長などの要職を歴任されました。さらに、北海道体育協会においても理事・常任理事、競技力向上委員長、副会長を務められ、地域スポーツの振興と競技力の向上に貢献されました。日本ホッケー協会においても、正会員（評議員）および理事を歴任されるなど、長年にわたりホッケー界の発展と競技基盤の充実に尽力されました。

そのご功績は誠に顕著であり、日本ホッケー界の発展に長年にわたり貢献された功績は、本賞の受賞にふさわしいものであります。

【略歴】

1959 年　北海高等学校卒業、1963 年明治大学卒業
1960 年・1964 年・1968 年　ローマ・東京・メキシコオリンピック日本代表
1962 年・1966 年　アジア競技大会日本代表
1965 年・1972 年・1973 年　国民体育大会優勝
1982 年・1990 年　アジア競技大会男子日本代表監督、1986 年同大会コーチ
北海道ホッケー協会理事・理事長・副会長、北海道体育協会副会長等、日本ホッケー協会評議員・理事を歴任